

略歴

昭和49年生まれ。大分県出身。46歳。横浜市金沢区在住。妻と2女の4人家族。平成9年、創価大学法学部卒業。平成15年、米国・ワイオミング大学大学院 公共政策学 修士課程修了。大手物流会社を経て、平成27年4月、横浜市長議員に初当選、現在2期目。公明党神奈川県本部企業団体局次長、学生局次長、金沢支部支部長。



横浜市会臨時会を開催 (1月6日~8日)



横浜市会 令和3年 第1回定例会を開催



2月1日(月)~3月23日(火)まで

「IR誘致の是非を問う住民投票」に関する条例案を否決

市会臨時会において、市民団体の直接請求による「IR誘致の是非を問う住民投票条例案」を巡って集中的な審議を行いました。公明党市議団として種々課題の多い条例案には賛同できませんでしたが、治安や風紀の乱れへの懸念、住民の声をしっかりと聴いて欲しいという署名された皆さまの思いを厳粛に受け止め、今後も議会において真摯な議論を行います。

条例案に対する反対討論《要旨》(1月8日本会議)

IR事業は数ある横浜市の総合的な政策の中の一つであり、制度上に課題を抱え法的な拘束力のない住民投票で市民に判断を委ねることではないと考えます。また、住民投票の実施には約10億円もの費用を要し、コロナ禍の現在、このような費用をかけることに対し、市民から厳しい批判や意見も頂いています。

公明党横浜市議団は、IR事業の検討に際して8つの付帯意見を付して、万全な治安対策や、依存症対策の充実をはじめ、増収財源を、医療、福祉、教育など、市民生活の安全・安心の確保に活用することを要望しています。この付帯意見が反映され、市民や関係団体への理解が深まる取り組みが進まなければ、横浜のIR誘致は実現されないと考えています。

現状では、横浜市の区域整備計画案が示されておらず、またそれに代わる代替案もない中、賛成や反対を判断することは困難であると考えます。引き続き、私どもは市民の代表として、今後提出される予定である区域整備計画案を責任もって審査・検証しながら、「横浜市が直面する課題解決につながるか」という視点で、IR事業に対する判断を行って参ります。



国連食糧農業機関(FAO)との連携強く

12月22日、市内の駐日連絡事務所へ、新たに赴任された日比絵里子所長を表敬。世界の食糧安全保障、貧困・飢餓撲滅の課題および広報活動などを巡って意見交換。横浜も世界有数の大都市として、着実なSDGsの取組み推進などで、FAOのミッションを後押しする責務を共有しています。

不妊治療の支援拡充へ 公明党の訴えが実現!!

公明党が長年訴えている不妊症・不育症に悩む方への支援拡充について。現在の治療費助成は夫婦の合計所得730万円未満の世帯が対象ですが、共働きを考慮すると基準の緩和が必要です。また流産や死産を繰り返す不育症の方への心理的ケアの充実も必要です。そこで、先日の本会議において今後の市の取組の方向性を問いました。市長は「各区役所や市大センター病院での相談支援充実を図る。国で進めている経済支援も今後の動向に合わせて対応する」と、副市長からは「(所得制限が撤廃されると)助成申請件数や相談件数が大幅に増加することが見込まれ、迅速かつ円滑に助成できるよう取り組む」と答弁がありました。

拡充される不妊治療の費用助成

現行	拡充後
初回30万円、 2回目以降は 15万円	初回30万円、 2回目以降も 30万円
最大通算 6回まで	子ども1人に 最大6回
事実婚も対象外	事実婚も対象に
所得制限は 夫婦の合計 730万円	所得制限を撤廃

2022年4月、保険適用を開始

新型コロナウイルス感染症に関する相談窓口について(コールセンター)

**横浜市新型コロナウイルス感染症
コールセンター(帰国者・接触者相談センター)**
TEL:045-550-5530 FAX:045-846-0500
24時間対応(土日、祝日を含む)

- 感染症の特徴、予防方法、有症時の対応など、全般的な相談
- 新型コロナウイルス流行地域からの帰国者や感染症患者との接触歴のある方等の受診調整
- 症状がある方等に検査を実施している医療機関を紹介(発熱・せき・どの痛みいずれかがある場合、県の発熱等診療予約センターも案内)

**神奈川県発熱等
診療予約センター**
TEL:0570-048914
または TEL:045-285-1015
9:00~21:00(土日、祝日を含む)



- LINEアカウント「神奈川県新型コロナ対策パーソナルサポート」からも申込可
- 電話やLINEの予約申込の情報をもとに、オペレーターが医療機関を予約

※症状が重い、徐々に悪化している等(特に夜間・休日) 緊急の場合 → 119(救急車を依頼)

金沢区の課題に密着

金沢消防団・ 第一分団新本部が完成!

早期の建替え推進を訴えてきた第一分団本部がついに完成!老朽化し手狭だった旧本部に比べ、各階にトイレも完備した2階建てとなり、広々とした待機スペースも確保されています。熱い志と献身で地域を守り抜く消防団の、新たな拠点です!



ゴミ屋敷対策が漸進

公明党市議団の訴えを受け平成28年にいわゆる「ゴミ屋敷条例」を制定し、物をためこんでしまう方の背景まで踏み込んだ福祉的なアプローチを基本に、区役所や担当局職員の粘り強い関わりで解決を図っています。年末には区内某所のいわゆるゴミ屋敷について「本人の同意が取れ、片付けができました」との報告を頂き、スッキリと片付いた現地を拝見しました。関係者の皆さまのご尽力に、心より感謝申し上げます。

国道357号・鳥浜地区の渋滞解消へ

一昨年より議会質問などで、事業者・区役所・横浜市関係局による協議体の設置など、課題解消に向けた提案を行い、着実に取組みを進めているところですが、先日は横浜市から国交省国道事務所への要望が行われました。引き続き国とも連携を図り、力を尽くして参ります。



短信 「市民の皆さまと共に」

陰の献身に感謝!(12月28日)

年末年始特別警備に従事する、金沢消防団8分団それぞれの本部を訪問し、団員の皆さまに御礼のご挨拶。コロナ下であり、時間短縮で人数も絞って万全の感染対策を行いながらの任務でしたが、街の安全を見守る目線はどこまでも鋭く。皆さまの献身に心より感謝申し上げます!



鳥浜自治会の清掃活(12月27日)

年末恒例の清掃活動に早朝から多くの皆さまに参加頂きました。会話は少な目に黙々とゴミ拾い。環境を美しく、気持ちよい新年へ!



新成人の皆さまの門出を祝して!(1月11日)

横浜アリーナ、パシフィコ横浜ノースの2会場で各4回と、コロナ対策を万全に分散開催。私もパシフィコ横浜ノース会場にお祝いに伺いました。コロナ禍という逆境の中、社会に巣立つ新成人の皆さまの、苦労の大きさは即使命の深さだと思えます。皆さまに心からのエールを送ります!

